

（第一面）

建築物のエネルギー消費性能に係る認定申請書

〇〇年〇〇月〇〇日

福岡市長 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称
代表者の氏名
福岡市中央区天神
1丁目〇番〇号
福岡 太郎 印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第36条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能基準に適合している旨の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決裁欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

記載例において想定している建築物
建築物全体 基準:895 設計:785

5F	住戸 基準:35 設計:37	住戸 基準:36 設計:34	共用部 基準:40 設計:33
4F	住戸 基準:35 設計:36	住戸 基準:36 設計:33	
3F	住戸 基準:35 設計:36	住戸 基準:36 設計:33	
2F	住戸 基準:35 設計:36	住戸 基準:36 設計:33	
1F	住戸 基準:35 設計:37	住戸 基準:36 設計:37	非住宅 基準:500 設計:400

共通項目の記載例を赤字で示します。共同住宅については紫字の部分の記入が必要です。

申請範囲に非住宅部分がある場合は、モデル建物法を適用した場合は青字の部分、標準入力法を適用した場合は緑字の部分について記入が必要です。で示します。

左記建築物の建築物全体と住戸の部分を同時に申請した場合の記載例です。

基準一次エネルギー消費量 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 GJ/年

BEI ()

一次エネルギー消費量に関する仕様基準

共用部分の基準一次エネルギー消費量 (40 GJ/年)

共用部分の設計一次エネルギー消費量 (33 GJ/年)

国土交通大臣が認める方法及びその結果

()

(3) 複合建築物

基準一次エネルギー消費量 540 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 433 GJ/年

BEI (0.81)

【13. 備考】

(第三面)

[住戸に関する事項]

【1. 住戸の番号】	201, 301, 401
【2. 住戸の存する階】	2～4 階
【3. 専用部分の床面積】	20 m ²
【4. 住戸のエネルギー消費性能】	
1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項	
<input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率	W/(m ² ・K) (基準値 W/(m ² ・K))
冷房期の平均日射熱取得率	(基準値)
<input checked="" type="checkbox"/> 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準	
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	()
<input type="checkbox"/> 基準対象外	
2. 一次エネルギー消費量に関する事項	
<input type="checkbox"/> 基準一次エネルギー消費量	GJ/年
設計一次エネルギー消費量	GJ/年
B E I ()	
<input checked="" type="checkbox"/> 一次エネルギー消費量に関する仕様基準	
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	()

記載例では、201, 301, 401 の住戸のみ記載しますが、実際の申請では全ての住戸について第三面を作成してください。

(別紙) 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準又は一次エネルギー消費量に関する仕様基準を用いる場合

1. 住戸に係る事項

(1) 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置

1) 屋根又は天井

【断熱材の施工法】 内断熱工法 外断熱工法
 充填断熱工法 外張断熱工法 内張断熱工法

【断熱性能】 断熱材の種別及び厚さ (種別 **押出法[®] リスレンフォーム保温版 a 種 aA**) (厚さ 100mm)
 熱貫流率 (W/(m²・K)) 熱抵抗値 (**3.5** (m²・K)/W)

2) 壁

【断熱材の施工法】 内断熱工法 外断熱工法
 充填断熱工法 外張断熱工法 内張断熱工法

【断熱性能】 断熱材の種別及び厚さ (種別 **押出法[®] リスレンフォーム保温版 a 種 aA**) (厚さ 100mm)
 熱貫流率 (W/(m²・K)) 熱抵抗値 (**3.5** (m²・K)/W)

3) 床

(イ) 外気に接する部分

【該当箇所の有無】 有 無

【断熱材の施工法】 内断熱工法 外断熱工法
 充填断熱工法 外張断熱工法 内張断熱工法

【断熱性能】 断熱材の種別及び厚さ (種別 **押出法[®] リスレンフォーム保温版 a 種 aA**) (厚さ 100mm)
 熱貫流率 (W/(m²・K)) 熱抵抗値 (**3.5** (m²・K)/W)

(ロ) その他の部分

【該当箇所の有無】 有 無

【断熱材の施工法】 内断熱工法 外断熱工法
 充填断熱工法 外張断熱工法 内張断熱工法

【断熱性能】 断熱材の種別及び厚さ (種別 **押出法[®] リスレンフォーム保温版 a 種 aA**) (厚さ 100mm)
 熱貫流率 (W/(m²・K)) 熱抵抗値 (**3.5** (m²・K)/W)

4) 土間床等の外周部分の基礎

(イ) 外気に接する部分

【該当箇所の有無】 有 無

【断熱性能】 断熱材の種別及び厚さ (種別) (厚さ mm)
 熱貫流率 (W/(m²・K)) 熱抵抗値 ((m²・K)/W)

(ロ) その他の部分

【該当箇所の有無】 有 無

【断熱性能】 断熱材の種別及び厚さ (種別) (厚さ mm)
 熱貫流率 (W/(m²・K)) 熱抵抗値 ((m²・K)/W)

5) 開口部

【開口部比率】 (**0.07**) 【開口部比率区分】 (**(は)**)

【断熱性能】 建具等の種類 (建具の材質・構造 **(一重) 金属製**)
(ガラスの種別 **LOW-E 複層 A12 日射遮蔽型**)
 熱貫流率 (W/(m²・K))

【日射遮蔽性能】

ガラスの日射熱取得率 (日射熱取得率)

付属部材 (南±25度 に設置するもの)

(上記以外の方位に設置するもの)

ひさし、軒等

6) 構造熱橋部

【該当箇所の有無】 有 無

【断熱性能】 断熱補強の範囲 (**450 mm**) 断熱補強の熱抵抗値 (**1.7** (m²・K)/W)

(2) 空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置

- 【暖房】暖房設備 (ルームエアコンディショナー)
- 効率 (定格暖房エネルギー消費効率 : 5.21)
- 【冷房】冷房設備 (ルームエアコンディショナー)
- 効率 (定格冷房エネルギー消費効率 : 5.09)
- 【換気】換気設備 (ダクト式第3種換気設備)
- 効率 (比消費電力 : 0.30 W/(m³/h))
- 【照明】照明設備 (非居室に白熱灯を採用しない)
- 【給湯】給湯設備 (ガス給湯器)
- 効率 (エネルギー消費効率 : 83.4%)

2. 備考

記載例において想定している建築物

建築物全体 基準:895 設計:785

5F	住戸	住戸	共用部 基準:40 設計:33
	基準:35 設計:37	基準:36 設計:34	
4F	住戸	住戸	
	基準:35 設計:36	基準:36 設計:33	
3F	住戸	住戸	
	基準:35 設計:36	基準:36 設計:33	
2F	住戸	住戸	
	基準:35 設計:36	基準:36 設計:33	
1F	住戸	住戸	非住宅
	基準:35 設計:37	基準:36 設計:37	基準:500 設計:400